

かがやき

『 実るほど頭を垂れる稲穂かな 』
(立派な人ほど謙虚であるという意味/故事成語)

令和 3年 9月 3日(金)発行 第20号

美しい心に触れて・・・

熱戦が繰り広げられている「パラリンピック」。連日、様々な競技が放映され、人間の可能性について考えさせられます。足を事故で失った選手が「失ったものではなく、今あるものを大切に、前向きに生きること」について話していました。

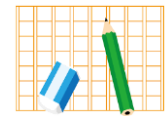


ともすると、私たちは、自分にないものに目がいきがちで、「これがこうだったら良いのに・・・」「○○がないからできない」というように、どこか言い訳のようなことを考えてしまいがちです。

しかし、古来より心のあり方について「足ることを知る＝知足(ちそく)」という美しい言葉・考え方(「老子」より)もあります。現状に満足し、多くを求めないこと・・・という意味です。中学生にとっては、少し難しい考え方ではありますが、「ないものねだり」をするのではなく、ありのままを受け入れ、満たされることを理解しなければ、いつまでも満足しない日々が続いてしまうのです。今、自分の周りにいる人たち、周りにあるもの、これまで身に付けたものを、ぜひ、秋の夜長にかみしめてみてください。

そして、今、自分がすべきことに全力でぶつかっていくことを願います。

「作文」を通して ～夏休みの課題作文から～



国語科では、全学年共通で ①読書感想文 ②税に関する作文 ③明るい社会づくりに関する作文 ④いじめに関する作文の中から、1作品に取り組むことを課題としました。提出された作品に目を通すと、中学生の、まっすぐな思いや考えがよく表現されており、感心させられました。今後、校内審査を経て、コンクールにも出品していきたいと思えます。

① 読書感想文 ～感想文に読まれた本を紹介します～

「空へ」「よるのぼけもの」「犯人のいない殺人の夜」「カラフル」「ライオンのおやつ」「時給三〇〇円の死神」「受験脳の作り方」「ぼくはイエローでホワイトで ちょっとブルー」「注文の多い料理店」「夢に向かってトム & ソーヤ」「夢をあきらめない 全盲のランナー・高橋勇市物語」

現在、授業でも、「読書生活を豊かに」という単元において「おすすめの本のポップ作り」を行っています。作品の完成後は、学年フロアに掲示し、今後の読書活動にいかしてほしいと考えています。後日、学年通信でも紹介します。

② 税に関する作文

税について調べ学習を行い、「もし、税金がなかったら・・・」という視点から考えを深め、税金の大切さに気づいていくといった内容の作品が多く見られました。特に、好間川氾濫の際の援助や修復工事など、身近な体験から描かれた作品が心に残りました。また、図書館にある、大好きな「本」の数々も税金から購入されていることを知り、税金のありがたみを知ったという作品も印象的でした。

③ 明るい社会づくりに関する作文

大多数が取り組んだ課題です。明るい社会とは何か？そこを出発点として、「平和」「戦争」「環境問題」「あいさつやコミュニケーションの大切さ」「将来の夢」「家族」「思いやりあふれる社会」「保護犬」など、さまざまな視点から、真剣に考えました。皆さんのような若い世代が手を取り合えば、きっと明るい社会を築いていけるだろう・・・という希望を感じました。

※「④」については提出がありませんでした。なお、誤字や乱雑な文字、間違った原稿用紙の使い方をしている作品が多数見られました。自分の作品は、まずは自分でよく確認して提出したいものです。



来週の予定

- 6日(月) 基礎学力コンテスト(数学)
- 9日(木) 弁当 ※準備をお願いします。

8日(水)は15:30、10日(金)は14:50、
それ以外の日は15:50下校です。